

平成 21 年度  
2 次評価のまとめ

①美術を通じた交流の促進											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨	2次評価(案)	コメント	2次評価(確定)
a. 年間観覧者数	C	B	C	C	C+	C	B	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標をわずかに達成していないものの、全国的に観光地やレジャー施設の入込み人員が減少している中健闘しているといえる。[金子]</li> <li>・企画展の魅力度アップや宣伝広報の強化により目標は達成可能と思われる。[金子]</li> <li>・3～4月桜、5月GW、7～8月夏休み等、季節モチベーションの活用強化[菊池]</li> <li>・目標に達成できなかった理由の一つに11月以降の新型インフルエンザの流行があげられているが、例年11月から12月にかけて来館者が減少している。その期と横須賀美術館の関係を探る必要性あり。また、前年と比べ1月は伸びている。その理由として「児童生徒造形作品展」の会期延長があるが、市民に愛される美術館の一つの方向性として、観覧者の少ないシーズンにこの種の作品展を通して市民の関心を促すことは必要に思える。[小林]</li> <li>・新型インフルエンザの影響受けながらも健闘[菊池]</li> <li>・駅等にポスターを掲示する等の努力をしているのは、評価される。[佐倉]</li> <li>・リピーターを増やす(横須賀市民の)対策を工夫しているが、いま一層の努力を市民(生徒、学童、児童)等の絵画展示、募集イベントの一工夫がほしい。[佐倉]</li> <li>・まだじゅうぶん努力、改善の余地があると判断した「C」である。[杉戸]</li> <li>・なかなか健闘していると思う。[水島]</li> <li>・さらに特色ある企画展を望む。[水島]</li> <li>・市美術館だからこそその企画展もあるのではないか？[水島]</li> <li>・広範囲に変化のある企画を望む。版画、フォークロア、工芸なども。[水島]</li> <li>・指標を満たしていない原因の分析をもっと丁寧に行ったほうがよい。ただし、不況下の数字としてはよく健闘していると評価できる。[山梨]</li> </ul>	
b. 年間来館者数	C	B	C	C	C+	C	B	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者は観覧者の2倍以上来ていることからまだ観覧者を上乘せする可能性は高い。[金子]</li> <li>・庭園や屋上なども美術館の魅力の一つであり、来館者増加のためにPRすべきである。[金子]</li> <li>・美術と音のコラボなど野外コンサートの企画[菊池]</li> <li>・美術館の枠を超えた企画[菊池]</li> <li>・来館者の増加は観覧者の増加に結びつく要因でもあるので、レストランのような付属施設は、質の高いサービス、ホスピタリティ、適正価格での美味しい食事等の配慮も必要になる。また、館内の図書室を美術図書室として一層の特化をはかり、合わせてPRをする。特に美術館の立地性から考えるとレストランや図書室のような付属施設を含めたトータルな美術館の魅力づくりが大切である。[小林]</li> <li>・a.(年間観覧者数)もそうだが、人数だけでCをつけるのは余り気がすすまない。募集努力等についても評価したいのでC+とした。[佐倉]</li> <li>・観音崎地区のイラストマップ等、図はいいが、中高年(リタイアしている人達)にとっては字が小さくて読めないのが惜しい。シニアを巻き込む工夫を考えて欲しい。[佐倉]</li> <li>・まだじゅうぶん努力、改善の余地があると判断した「C」である。[杉戸]</li> <li>・観光スポットとして市に貢献しているように思う。[水島]</li> <li>・ワークショップ、ボランティア企画等が充実していることも要因か[水島]</li> <li>・市観光課と連携して広範囲なアートイベントを行ってほしい。[水島]</li> <li>・評価項目として別に「やすらぎの場の提供」が掲げられていることを考慮すれば、レストランのみの利用者も計算に入れるべきである。[山梨]</li> </ul>	

c. 市民率	B	B	B	B	B+	B	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の利用は、もっと増加すべきと思うが、観光地に立地する特性から、市外の人に来て楽しめる展示・企画も注力する必要がある。[金子]</li> <li>・横須賀にとっての美術館、その意味付けによって、横須賀市民観覧者の適正率が割り出されるのではないかと。22年度以降の課題が記載されているが、再度その種の課題の検討が望まれる。[小林]</li> <li>・市民が、3～4割くらいが望ましい。[佐倉]</li> <li>・市民には、興味を持ってもらい何度でも足を運びたいよう一段の努力を願いたい。[佐倉]</li> <li>・市政に支えられているからこそその美術館であるならば、市民の利用拡大は重要な課題である。[杉戸]</li> <li>・アンケートそのものにデータを取るだけの収集があるのか？[水島]</li> <li>・地域とつながった特色のある企画も参考に。例えば、金沢21世紀美術館など…。現代アートを通じて地域とつながる。[水島]</li> <li>・市外から注目されることにより、市民の美術、芸術への関心を高め、文化向上につなげる。質の高い企画展と美術館運営を求める。[水島]</li> <li>・微妙で曖昧な評価項目なので、将来的にはa.ないしb.の但し書のような位置に記述したらどうだろうか。[山梨]</li> </ul>
d. パブリシティの状況	B	B	B	B	B	B	C	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に例のない上質な景観を有する美術館であるから、テレビのロケや雑誌撮影場所に協力、タイアップするなどし、認知率を向上してほしい。[金子]</li> <li>・パブリシティは最重要であり、地元出身タレントなど有効活用[菊池]</li> <li>・専門誌にこだわらず幅広いフィールドで露出度を向上[菊池]</li> <li>・パブリシティに対する働きかけについては努力の後がみられる。テレビや全国紙の効果が大きいので、一層組織的な訴求活動が望まれる。ホームページは比較的に見やすくできている。「22年度以降の課題」とあるように、美術情報サイトやブログといった、インターネット上の戦略が必要である。[小林]</li> <li>・朝のNHKラジオ等で地方の行事等の話題に時間を割いていることがある。横須賀からのレポートも時折あるので、取り上げてもらえるように工夫を願いたい。[佐倉]</li> <li>・展示作品で注目を集めるのはもちろん大切だが、他にない景観との相まったポイントも大いに宣伝したい。[佐倉]</li> <li>・美術館や美術になじみのある人だけでなく、積極的にターゲットを広げることが大切。[杉戸]</li> <li>・一般の人々に開かれた場として認識されるよう努力。[杉戸]</li> <li>・テレビ、専門誌での取り扱いが何より効果的。[水島]</li> <li>・横須賀美術館は、市外ではかなり好印象である。[水島]</li> <li>・まずは美術館の売りをアピール、市民が誇れる施設であることを市民にアピールしてほしい。[水島]</li> <li>・広報予算が限定されている範囲で高い成果を挙げている。今後はホームページ等、電子媒体による情報発信にも努められたい。[山梨]</li> </ul>
e. アクセス満足度	B	B	B	C	C	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・馬堀海岸IC開通によりアクセスは格段に向上した。[金子]</li> <li>・横須賀市内の観光施設として市の中心部からの案内誘導の強化を望む。[金子]</li> <li>・評価内容から”満足度”ではなく、”認知度”のほうが理解しやすい[菊池]</li> <li>・郊外型美術館だけに、馬堀海岸インターチェンジの開設の意味は大きい。その結果、自家用車利用者の増加に結びついているようであるので、観覧者に対する駐車料金の見直しも一つの手立になるのではないだろうか。青い海と美術館、そうした横須賀美術館の自家用車での来館の魅力を一つの目玉にする。[小林]</li> <li>・横浜から直行するコースや軍港めぐりとの協同等、横須賀観光に組み込む。[佐倉]</li> <li>・はとバス等、日帰り旅行の計画の策定を業者にアピールする。[佐倉]</li> <li>・車がないと不便なので工夫が必要である。[佐倉]</li> <li>・まだ改善の余地があると判断できる。[杉戸]</li> <li>・車の利用者にとってはアクセスはかなり良い。(インターができて)観光をかねた市外来館者には良か？[水島]</li> <li>・高速道路割引きが終わると、市外来館者にも影響があると予測される。[水島]</li> <li>・公共交通機関はかなりきびしい。年齢的なばらつきも予測される。[水島]</li> </ul>

②質の高い展覧会の開催										コメント	2次評価(確定)
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨			
a. 企画展 集客率	C	C	C	C	C	-	C	B	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わずかに達成しなかったが、企画展が集客の要であるため、今後も充実を望む。[金子]</li> <li>・パブリシティの効果が出ているように思う[菊池]</li> <li>・評価指標を60%と設定しているの、個人的には2次評価をCと定めたが、アンケートの実施方法に依拠するので、一概には言えない部分がある。企画展の意義は大きく、観覧者の増加をはかる要因であることは確かである。そのためにも、横須賀美術館の位置づけを検証しつつ、企画の取り組みが必要になる。[小林]</li> <li>・企画展の内容を季節に合わせる。[佐倉]</li> <li>・対象を絞った企画を計画してみる。[佐倉]</li> <li>・目玉作品の展示を年一回くらい開催したい。(国宝等の展示)[佐倉]</li> <li>・達成可能な数値を60%と推定し、指標としたことが疑問。[杉戸]</li> <li>・企画展の内容の幅広さ(多様さ)は、多くの来館者の興味に対応し、よく考慮されている。[杉戸]</li> <li>・パブリシティが弱く、集客しきれなかったのか？[水島]</li> <li>・テレビ、専門誌でのあつかい、他美術館でのポスター掲示など、美術に興味を持っている人への働きかけも弱いと思う。[水島]</li> <li>・目標が60%であるから、59.8%はB評価としてよい。[山梨]</li> </ul>	
b. 企画展 の満足度	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に満足度の高い企画展であった。[金子]</li> <li>・鑑賞するポイントの解説を強化して欲しい。[金子]</li> <li>・評価指標を70%と設定しているの、個人的には2次評価をBとしたが、アンケートの実施方法に依拠するので、一概には言えない部分がある。しかし、分析は周到に行われている。今後とも、「わかりやすい展示」、「見やすい展示」が課題になる。[小林]</li> <li>・展示を見せていただき、3時間くらいかかるのと、1時間足らずで見終わってしまうものがある。観客の動向をみているとよくわかるので、足を止めたくないような企画展を考えてもらいたい。[佐倉]</li> <li>・クレー展、白髪一雄展での満足度の低さが気に掛かった。一般的に難解、専門性の高い企画であればあるほど、より誰もが興味をもてるような提示の工夫を。[杉戸]</li> <li>・コドモノクニ展はとても満足した。地味だが市の美術館としてきめ細やかな題材だったのではないか？[水島]</li> <li>・設定した指標の数値ひとつに集約するのではなく、事業報告書に記述された各展覧会についての記述内容をまとめた形で指標をつくるよう工夫されたい。評価報告書の「21年度の取り組み」中にクレー展、白髪展、ワンダーシニア展への言及も欲しい。[山梨]</li> </ul>	
c. 所蔵品 展の満足度	C	C	C	C	B	-	B	B	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飽きのこないよう展示品の入れ替え、新たなテーマの導入などを実施する。[金子]</li> <li>・評価指標を60%としているが、その根拠は20、21年度から判断したものなので、指数設定の検討が必要になるように思われる。前年度を上回ると言う視点はそれなりに必要であるが、落ち込んでいる指数を上げて対策を講じ改善をはからないと、魅力ある美術館にならないのではないだろうか。[小林]</li> <li>・工夫の跡が見える。[佐倉]</li> <li>・印象派展等、派別での展示(展示エリアで分ける等の工夫を)[佐倉]</li> <li>・作家の画風の変化が、わかるような展示型の工夫を。[佐倉]</li> <li>・達成可能な数値を60%と推定し、指標としたことが疑問。他の2つの展示(企画展及び谷内六郎展)が70%を指標としているのに対し、同様の展示満足度であるにもかかわらず、60%を指標とするのは疑問。[杉戸]</li> <li>・努力の程は感じられる。[水島]</li> <li>・マンネリになりがちなのはどこも同じだが、以前、展示の変化で、とても見やすさを感じた。作品の流れが良かったのかもしれない。[水島]</li> <li>・目標が60%であるから、59.1%はB評価としてよい。[山梨]</li> <li>・設定した指標の数値ひとつに集約するのではなく、事業報告書に記述された各展覧会についての記述内容をまとめた形で指標をつくるよう工夫されたい。[山梨]</li> </ul>	

d. 谷内六郎展の満足度	B	B	B	B	B+	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館で人気の高い(中心的な)作品であるため、常に展示内容等配慮し、質の高い展示を維持するよう期待する。[金子]</li> <li>・谷内六郎展の評価指標は70%とあり高い指標をクリアしている。谷内六郎が横須賀美術館の一つの目玉になっていることを勘案すると、現在取沙汰されている問題に対し行政として速やかな解決策を講じないと美術館の評価にも影響しかねないのではないのか。[小林]</li> <li>・すべてが同一作家の作品であるため、作家の制作当時の心境も反映されていて、その時代が作品を通じて見える点が評価されていると思う。[佐倉]</li> <li>・所蔵品展に比べ、安定した数値であるとはいえ、谷内六郎館をとりまく、周辺事情を考えると、今後が心配である。(はたして、今までの展示のクオリティを維持できるのか。)[杉戸]</li> <li>・昭和ブームである。大いに活用してほしい。[水島]</li> <li>・作品数が多く、あきがこない。レトロ感がホッとする。[水島]</li> <li>・館を別にしてひとつに集めているところもよいと思う。[水島]</li> <li>・著作権者との関係修復が望まれる。[山梨]</li> </ul>
e. リピーター率	C	C	C	C	B	C	-	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーターの確保は、観客数目標達成のためにも重要であり、リピーターの意見に耳を傾けるべきである。[金子]</li> <li>・着実に目標値に近づいている[菊池]</li> <li>・年間パスポートの魅力向上とPR戦略[菊池]</li> <li>・この評価指標40%以上は妥当な指標なのか。市内の中心部からも離れた郊外型の美術館の現状分析が必要である。[小林]</li> <li>・一部の人のみに奉仕するものに陥ってはならないが、展示が変わるたびに行きたくなくなるようにすることも大切だ。[佐倉]</li> <li>・(年間パスポート普及について、広く一般に認識されていないのではないか。)[杉戸]</li> <li>・美術啓蒙はもちろんだが、文化の発信。新しさ、楽しさを発見できる美術展、文化イベントも行える美術館としてより自由に展開してほしい。[水島]</li> <li>・この項目も数値の意味するところが両義的であるので、評価対象としてなじまないと思われる。[山梨]</li> </ul>

③やすらぎの場の提供											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 館内アメニティ満足度	B	A	A	B	B	B	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内は明るく、吹き抜けが多く開放的である[金子]</li> <li>・トイレや廊下などのスペースも清潔であり好感がもてる。[金子]</li> <li>・アメニティの要であるトイレの快適性の向上に努められたい[菊池]</li> <li>・評価指標80パーセントと高いが、個人としても館内のアメニティの満足度が高いことを実感する。[小林]</li> <li>・展示場の中に、椅子、ソファ等座って、じっくり鑑賞できるようにした方がいい。[佐倉]</li> <li>・掃除は、行き届いていて気持ちがいい。[佐倉]</li> <li>・まだ改善の余地があると判断できる。[杉戸]</li> <li>・新しさが満足度につながっている。[水島]</li> <li>・トイレ、公共の場の清掃には特に心がけ、こまやかに気を使っていたきたい。きたならしい印象は最悪。[水島]</li> <li>・快適性の項目で比較的数値の低いものについて、その原因と対策をさらに検討されるのが望ましい。全体としては高い評価に値する。[山梨]</li> </ul>	
b. スタッフ対応の満足度	C	C	B	A	B	(C)	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者は”お客様”という気持ちをスタッフ全員に浸透させる。スタッフの応待が良ければリピートにつながっていく。[金子]</li> <li>・指標に達していないが(-1%)、前年からの改善が著しい[菊池]</li> <li>・個人的な評価であるが、一観覧者として訪れた限りの印象では、なかなか対応が行渡っている。更にホスピタリティ・マインドの育成をはかる組織造りが望まれる。[小林]</li> <li>・他の美術館等と比較しても、遜色はない。[佐倉]</li> <li>・観客の態度のチェックは必要だが、優しい心配りも必要である。[佐倉]</li> <li>・展示監視→「警戒して見張る」ではなく、「看視」→「気をつけて見る」運営スタッフの対応は、美術館に対するイメージに直接つながるものとしてとらえ、今後とも研修を深めてほしい。[杉戸]</li> <li>・評価指標80%に対し、わずか1%足りていないことで「C」とするのは、少しきびしいような気がする。[杉戸]</li> <li>・取りたてて印象はないが、美術館だからといって表情を持たないほうがよいということはないと思う。接客という観点から笑顔での対応を希望する。[水島]</li> <li>・79%はほぼBとしてよい。[山梨]</li> <li>・「取り組み」に記述されている諸事項については、今後も継続されたい。[山梨]</li> </ul>	
c. ミュージアムショップの満足度	C	C	C	C	C	C	C	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積は狭いものの、開放的で居心地のよいショップであると思う。[金子]</li> <li>・他の美術館で評価の高いショップを参考にしたらどうか[金子]</li> <li>・オリジナル商品が少ない[金子]</li> <li>・前年から悪化。原因を分析し、改善策を講じたい[菊池]</li> <li>・評価指標70%の設定はともかく、前年度より満足度は落ち込んでいる。アンケートの分析もさることながら、ショップ関係者の顧客ニーズの木目細かな分析が求められる。付属施設の満足度も観覧者の増加要因、リピーターの増員につながる。[小林]</li> <li>・横須賀美術館しかないグッズ等の作成、谷内六郎の展示作品のクリアフォルダー、横須賀のキャラクター、スカリンの美術館バージョンのストラップ等のオリジナル商品でショップの売り上げも上がり、満足度もアップすると思う。[佐倉]</li> <li>・20年度に比べ21年度、ミュージアムショップの満足度が大幅に落ち込んでいることは、重くとらえていくべきである。[杉戸]</li> <li>・初回の来館者には「それなりに」なのではないか？[水島]</li> <li>・再来者にとっては多少目新しさに欠ける。[水島]</li> <li>・展覧会に関連した期間限定商品のさらなる充実を。[水島]</li> </ul>	

d. レストランの満足度	C	C	C	C	C	B	C	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示とのコラボレーションなどを充実し、さらに人気度を高めてほしい。[金子]</li> <li>・60%台が常態化している。緊急な対応を業者にも自覚を促し、検討[菊池]</li> <li>・重要な付属施設なので、21年度の取り組みを更に深化させ対応をはかる。[小林]</li> <li>・メニューが少ないのと、やや内容に比べて価格が高いが、景色を織り込めば納得できる。[佐倉]</li> <li>・予約制なのか、フリーなのかはっきりしないのが、満足度を下げていると思う。[佐倉]</li> <li>・レストラン自体にさほど大きな問題があるとは思えない。[杉戸]</li> <li>・美術館周辺に「気軽に」食事ができる場所が少ない。すべての世代が心地よく過ごせる工夫を。[杉戸]</li> <li>・昼食時のメニューが変りばえがないのでリピーターには魅力がない。もう少し軽い食事やお茶に利用したい。[水島]</li> <li>・レストラン自体を数年ごとに見直し、独創的でやる気のある料理人に場を開くのも良いのではないか。料理も芸術の場。[水島]</li> </ul>
e. 図書室の満足度	C	C	C	C	C	C	C	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所がわかりにくい。[金子]</li> <li>・図書室の利用方法が一般に認知されていないのではないか。[金子]</li> <li>・H19の5, 8, 9月の利用が多い、何か工夫があるか調査[菊池]</li> <li>・教育機関の利用促進策の検討[菊池]</li> <li>・故匠秀夫氏の蔵書を軸にかなり整備された図書室になっているようだが、更に美術館の図書室の機能を特化させる。付属図書室としての特徴をPRする。[小林]</li> <li>・入館者が、図書室の存在を知らないのではないか。[佐倉]</li> <li>・企画展等に対応した図書の案内、一工夫あるとより、相乗効果を期待できると思う。[佐倉]</li> <li>・図書館のみの利用ならば無料、であることは認知されているのだろうか。[杉戸]</li> <li>・美術館の図書館というと、専門性の高いイメージが強く、気軽に、絵本を読むことができる、ということが、一般に、認識されていないのではないか。[杉戸]</li> <li>・図書室を利用するという環境条件が整っていない。来館者は多く車利用であるため、図書を利用する余裕がない。駐車時間の問題がある。[水島]</li> <li>・2階、ボランティア室となっているスペースが気になる。図書や資料の閲覧などに使えないのか？[水島]</li> <li>・利用者数も満足度のうちに加味できる工夫が欲しい。また図書室の性格づけを広報する必要がある。利用者の絶対数が少ないとあるが、年間1万人以上の数はひじょうに多いと判断される。[山梨]</li> </ul>
f. 周辺諸施設との連携	C	C	B	C	C	C	C	-	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺施設とのPR強化、相互優待の実施など地域全体での連携を図る。[金子]</li> <li>・観音崎の地域拠点としておおむね役割を果たしている[菊池]</li> <li>・歴史のある灯台、美しい海岸線、そのロケーションと美術館の結びつきを考える。[小林]</li> <li>・“横須賀を楽しもう！”といったイベントを、他の機関や企業と連携して実施拡充したい。[佐倉]</li> <li>・観光地としてのアピールと連携が薄く感じる。[杉戸]</li> <li>・県立観音崎公園の中心に位置していることを考えれば、利用者がゆっくりと滞在し、公園利用、散歩に時間をとれるような、駐車場の料金設定を県と交渉願う。[水島]</li> <li>・この項目は評価のつけようがない。むしろ「取り組み」に記されているような連携のための事業をどれだけやったかに評価の視点を移すべき。[山梨]</li> </ul>

④知的好奇心の育成と充足											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 企画展・所蔵品展・谷内六郎展の開催	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横須賀ならではの地域性を発揮した企画展示を希望する。[金子]</li> <li>・努力の跡がみられる。[小林]</li> <li>・企画展等で、触れられる作品があるのはおもしろかった。子供たちはもちろん、大人も興味を持っている様子が見えた。[佐倉]</li> <li>・谷内六郎年次別展示に合わせたイベントやグッズを計画する等、内部連携を工夫すると面白いのではないかと。[佐倉]</li> <li>・幅広い層に訴えるためのバランスはよく考慮されている。積極的に来館者の興味を喚起し、知的な遊びに誘う場としての美術館のあり方を、今後とも検討して欲しい。[杉戸]</li> <li>・個人的には「コドモノクニ」がたいへんよかった。地味でも、意義のある企画。媒体でもっと取り上げて欲しい。[水島]</li> <li>・この項目について客観的判断の基準が不足している[山梨]</li> </ul>	
b. 講演会・アーティストトークなどの開催	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術のみにこだわらず、関連付けた意外性をテーマに設定したイベント[菊池]</li> <li>・努力の跡が見られる。美術館の位置づけとの検証も踏まえて、一層の充実をはかる。[小林]</li> <li>・頑張っていると思う。これからもしっかり続けてほしい。[佐倉]</li> <li>・島田館長による陶芸(皿)制作等の苦労話や自習体験コースも年に数回実施してほしい。[佐倉]</li> <li>・ヒトとモノ(展示物)のコミュニケーションのみならず、ヒトとヒトとのコミュニケーションをはかっている企画は素晴らしい。出会いを設定するという美術館の取り組みは、来館者の学びをサポートする上で、重要。[杉戸]</li> <li>・観覧者の反応・感想は？→今後の参考として集約すべきである。[杉戸]</li> <li>・充実しているほうだと思う。[水島]</li> <li>・聴講したいと思わせる企画が多くある。[水島]</li> </ul>	
c. 一般向けワークショップなどの開催	A	A	A	A	A	A	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館の特色としても更なる充実をはかる。[小林]</li> <li>・ワークショップは、頑張っているこれからもユニークなものに挑戦して「横須賀美術館はおもしろい。」というようなイメージが定着したらいいと思う。[佐倉]</li> <li>・ワークショップは横須賀美術館の様々な取り組みの中で、最も特色があると思える。美術館側としても参加者とともに学びあえる、良い機会と考えられる。いずれにせよ、人と人とのコミュニケーションは、大切にしていってほしい。</li> <li>・かなりおもしろそうだといつも感じている。機会があれば参加したいと思っている。[水島]</li> <li>・④-b. がB、④-c. がAと一次評価にあるが、その差の理由が判らない。[山梨]</li> </ul>	
d. 学芸員によるギャラリートークの実施	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館の魅力を喚起する上にも学芸員のギャラリートークは必要である。[小林]</li> <li>・ギャラリートークの出前講座を実施する。参加者に、美術館の割引券を配布する等で美術館への吸引力を増強したい。[佐倉]</li> <li>・ギャラリートークのことをあまりわかっていない。いつどのように行われているのか、当日でもわかりやすくしてほしい。[水島]</li> <li>・この項にも目標回数など客観的判断の基準が欲しい。[山梨]</li> </ul>	
e. 学芸員による論文等の充実	C	C	C	A	C	C	-	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館の現状を鑑みると学芸員はかなり現場の仕事に追われているようであるが、そうした状況の中では業績を積み上げているように見受けられる。一次評価はCとなっているが、自らを研鑽する上での評価と考える。その姿勢は大切なことで、論文等で業績を高める努力がない学芸員が増加するようでは、美術館の先行きは問われる。質の高い学芸員の下で、良質の美術館が育てられていく。[小林]</li> <li>・新聞にも掲載され、横須賀美術館のイメージを高めるようにぜひ頑張してほしい。[佐倉]</li> <li>・美術館活動全体の根幹をなす調査研究が具体的な成果として表われる大切な事項のひとつであるので、図録のなかに学芸員たちがまとめた論考をもっと書くことが望まれる。[山梨]</li> </ul>	



⑤福祉活動の展開											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 福祉とアートをテーマとした講演会の開催	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野比にある(独法)国立特別支援教育総合研究所との連携によるプログラムの企画[菊池]</li> <li>・大切な課題であり今後も取り組みが必要である。[小林]</li> <li>・これからも積極的に推進してほしい。[佐倉]</li> <li>・難しい課題に積極的に取り組もうとしている点においては、評価されるべきであり、今後とも継続的に行ってほしい。</li> <li>・⑤—a.b.c.d.の4項目はひとつにまとめ、事業報告のなかで内容を記述する形にしたほうがよいのでは。[山梨]</li> </ul>	
b. 障害児者を対象としたワークショップの開催	A	A	A	A	A	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップは好評のようであり、継続を希望する。[金子]</li> <li>・野比にある(独法)国立特別支援教育総合研究所との連携によるプログラムの企画[菊池]</li> <li>・一層の取り組みが求められる。[小林]</li> <li>・年12回開催ということであるが、一回の参加者は?隔月にしてもよいのではないか。[佐倉]</li> <li>・すべての人に学びの場を提供するのは大切なことであり、横須賀美術館では努力されている。[杉戸]</li> <li>・感想が好評であったという点では、評価は「A」として妥当である。[杉戸]</li> <li>・参加したことがないが、時間に余裕があればボランティアとして参加したいと思う。[水島]</li> <li>・ワークショップの作品を見ると評価できる。[水島]</li> </ul>	
c. 障害者施設、高齢者施設などでの実施	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一層の取り組みが求められる。[小林]</li> <li>・障害者・高齢者に美術への関心を持たせるよい施策である。[佐倉]</li> <li>・すべての人が心を豊かにできるような場の提供であってほしい。[杉戸]</li> </ul>	
d. 託児サービスの実施	B	B	B	B	B	B	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者としてはたいへんありがたいサービスと思われる。[金子]</li> <li>・コストはかかるが継続して欲しい。[金子]</li> <li>・一層の充実が求められる。[小林]</li> <li>・急激にニーズが増えるとは思わないが、大切なサービスなので地道に実施して行ってほしい。[佐倉]</li> <li>・託児サービスの実施は評価する。[水島]</li> <li>・じゅうぶんに利用されているのか?という少々疑問[水島]</li> </ul>	

⑥学校との連携											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 児童生徒造形作品展の開催	B	B	A	B	B	A	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携は美術への関心を高める他、親も含め、美術館へ興味を持ってもらえるため、是非強化して欲しい。[金子]</li> <li>・満足度、集客、内容とも評価されるレベル[菊池]</li> <li>・美術館は心の癒しであり、心の福祉でもあるので、幼児・児童段階からの利用が求められる。イギリスでは美術館がない都市は都市と言わない程、都市には美術館があり、子どもたちが日常的に関わりを有している。[小林]</li> <li>・児童・生徒も美術館イベントに参加できるような場づくりに、これからも継続して努力してもらいたい。[佐倉]</li> <li>・児童・生徒の作品展はぜひ続けてほしい。[佐倉]</li> <li>・神奈川県内の他地区ではあまり例をみない取り組みであり、特色あるものである。美術館側の理解と協力については、教員の立場として、とても感謝している。この思い切った取り組みに関しては、じゅうぶんな評価に値すると考える。[杉戸]</li> <li>・この満足度は、他の企画展の満足度と性質が違うことを明記すべきである。[山梨]</li> </ul>	
b. 小学校美術館鑑賞会の受け入れ	B	B	B	B	B	B	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携は美術への関心を高める他、親も含め、美術館へ興味を持ってもらえるため、是非強化して欲しい。[金子]</li> <li>・美術館は心の癒しであり、心の福祉でもあるので、幼児・児童段階からの利用が求められる。イギリスでは美術館がない都市は都市と言わない程、都市には美術館があり、子どもたちが日常的に関わりを有している。一層の充実が求められる。[小林]</li> <li>・美術の時間に、本物の芸術作品を鑑賞することが大切なので、積極的に推進して行ってほしい。[佐倉]</li> <li>・鑑賞教育の重要性は、新学習指導要領(文部科学省が定める教育のガイドラインのようなもの)の中においても扱われている事項である。美術館が、人間の存在を豊かにする生涯学習の拠点となり得ることを、もっと教育現場にいる者が深く学習すべきであると感じる。美術館と教育現場の温度差をなくす為の相互の努力の必要を感じる。[杉戸]</li> <li>・対小学校との連携はきわめて良好と思われる。[山梨]</li> </ul>	
c. 中学生のための美術鑑賞教室の開催	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校との連携は美術への関心を高める他、親も含め、美術館へ興味を持ってもらえるため、是非強化して欲しい。[金子]</li> <li>・美術館は心の癒しであり、心の福祉でもあるので、幼児・児童段階からの利用が求められる。イギリスでは美術館がない都市は都市と言わない程、都市には美術館があり、子どもたちが日常的に関わりを有している。一層の充実が求められる。[小林]</li> <li>・継続して実施して行ってほしい。[佐倉]</li> <li>・作品の鑑賞方法の様々な糸口を提示してくれている。(中学生という、思春期の彼等の興味・関心を引き出し、学びたいという意欲を起こさせるのは難しい。しかし、この時期における、経験や刺激は以後の彼等の人生に、何らかの影響を及ぼす。未来を負う彼等が豊かな人生を歩めるよう、より良いサポートを展開して行ってほしい。)[杉戸]</li> </ul>	
d. 研修等の受け入れ	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多忙な業務の中、研修生受け入れは負担となるだろうが、貴重な体験を提供できる立場として職員に頑張って欲しい。[金子]</li> <li>・学芸員には苦勞が伴うが、学芸員養成課程に美術館等の実習が組まれている。しかし、大学側は受け入れ先確保に苦勞しているようである。公立美術館は社会的貢献を果たす意味でも、研修生の受け入れを継続することが望まれる。[小林]</li> <li>・これからも、積極的に推進して行ってほしい。[佐倉]</li> <li>・学習活動へのサポートとして、大切な取り組み。学生達には、社会教育施設の意義や大切さについても学習する機会を与えてほしい。(それが将来美術館にとっても有意義なものとなると思う。)[杉戸]</li> </ul>	

⑦市民との協働											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. サポートボランティアの活動状況	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア数の確保はどうか(いつも決まった人では活動に限界がある)[金子]</li> <li>・市民との連帯を図る意味でも必要なプログラムである。[小林]</li> <li>・サポートボランティアを増やしていく方策を考えてほしい。[佐倉]</li> <li>・サポーターと職員の協働による円滑な企画、活動を期待したい。[佐倉]</li> <li>・よく頑張ってくれていると評価したい。[杉戸]</li> <li>・評価判定の基準が欲しい。[山梨]</li> </ul>	
b. プロジェクトボランティアの活動状況	B	B	B	B	B	B	B-C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア数の確保はどうか(いつも決まった人では活動に限界がある)[金子]</li> <li>・市民との連帯、新しい美術館像の模索にとって必要である。[小林]</li> <li>・プロジェクトボランティアとサポートボランティアの区分がよくわからない。[佐倉]</li> <li>・市民協働からいえば両ボランティア構成員の増強を図ることが大切ではないか。[佐倉]</li> <li>・よく頑張ってくれていると評価したい。[杉戸]</li> <li>・20年度はボランティアとして企画参加。21年度は補助として当日参加。・21年度のイベントを経験してそれなりの実績を感じた。[水島]</li> <li>・しかしこのままでは変りばえなくマンネリ的というか？ひろがりを感じないように思う。ボランティアの満足だけのイベントになりはしないか？ボランティアが外に広がっていくにはもっと自由な展開を期待。[水島]</li> <li>・評価判定の基準が欲しい。[山梨]</li> </ul>	

⑧子どもたちへの美術館教育											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 子ども向けワークショップの開催	A	A	A	A	A	A	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気のある企画であり、充実を望む。[金子]</li> <li>・「学校での連携」で既述した趣旨どおり、子どもの感性を育てる大切な取り組みである。[小林]</li> <li>・すばらしいと思う、これからも積極的に推進してほしい。[佐倉]</li> <li>・子どもの可能性は無限、発想も柔軟。美術館が彼等にとって学びの場となることを実感できる良い企画。今後とも場を共有し、相互に刺激し、学び合うワークショップの充実をはかることは大切。[杉戸]</li> <li>・⑧-a.b.は⑧とし、なおかつ教育普及分野で取りまとめ、その一項目として評価したらどうだろうか。[山梨]</li> </ul>	
b. アーティストと出会う会の開催	A	A	A	A	A	A	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒たちが、アーティストと直接ふれあう機会はとても大切であり、継続を希望する。[金子]</li> <li>・「学校での連携」で既述した趣旨どおり、子どもの感性を育てる大切な取り組みである。[小林]</li> <li>・著名アーティストや新進気鋭の若手アーティスト等いろいろな出会いのチャンスを与えてほしい。[佐倉]</li> <li>・子どもたちにとっては出会いこそがまさに学びの場のはじまりになる。有意義な出会いの場を設定している。[杉戸]</li> <li>・参加者の反応・感想は集約し、今後に生かすべきだと考える。又、それを踏まえた上での評価であってほしい。[杉戸]</li> </ul>	

⑨すぐれた美術品の収集・保管											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 作品収集の状況	C	C	C	?	B	C	C	C	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入予算がない厳しい状況であるが、今後も収集を努力して欲しい。[金子]</li> <li>・一次評価Cとあるが、その評価基準がわからない。予算が計上されていないのに、寄贈等を受けたことは逆に作品収集の状況評価はAとも判断できるが。また、予算無しが評価Cになったとも読み取れる。[小林]</li> <li>・財政難の中、積極的に努力されていることは、指標を満足しているか否かにかかわらず評価したい。[佐倉]</li> <li>・予算確保が困難な状況だと思うがこれからはがんばってほしい。[佐倉]</li> <li>・困難であると思うが、更なる充実を求めたい。[杉戸]</li> <li>・購入(予算)を欠いているのは、美術館収集活動として決定的なマイナスであり、形だけでも購入費の復活が望まれる。[山梨]</li> </ul>	
b. 保存・修復の状況	B	B	B	B	B	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海のそばという環境のため、今後も作品の保存状況にはじゅうぶん留意されたい。[金子]</li> <li>・作品を保全していくことは、美術館の大切な役割だと思うので、地味な仕事ではあるががんばってほしい。[佐倉]</li> <li>・指標を明らかに。[山梨]</li> </ul>	
c. 所蔵作品の貸出状況	A	B	A	A	A	A	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・103件の貸出状況が、多いのかは不明。[金子]</li> <li>・過去の所蔵作品が評価されていることで嬉しいことである。[小林]</li> <li>・所蔵作品の積極的貸出を図ることは、横須賀美術館を多くの人に知ってもらう機会だと思う。これからは推進してほしい。[佐倉]</li> <li>・様々な美術館との連携は、じゅうぶんな評価に値する。</li> <li>・指標を明らかに。[山梨]</li> </ul>	

⑩経営的な視点をもった効率的な運営・管理											
	1次評価	金子	菊池	小林	佐倉	杉戸	水島	山梨		コメント	2次評価(確定)
a. 開館日	C	B	C	C	C	C	C	A	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数はじゅうぶんと思われる。[金子]</li> <li>・展示替えは同一日に実施し、企画と所蔵の両方を見れる方が満足度が高まるのではないかと。[金子]</li> <li>・休館日も屋上を開放するなど、来館した方が何らか楽しめるようにしてはどうか。[金子]</li> <li>・質の向上を求める開館日の改善は必要であり、臨時休館の周知徹底に努める[菊池]</li> <li>・検討の余地あり。一次評価者より意見を伺う。[小林]</li> <li>・週に一日は休館日があってもいいと思う。[佐倉]</li> <li>・毎月**日は、“美術館の日”といった美術館のイメージアップするようメリハリをつけてみてはどうでしょうか。[佐倉]</li> <li>・改善の余地がじゅうぶんあると判断した「C」である。[杉戸]</li> <li>・経費を考えれば週一回の休日はあっても良い。[水島]</li> <li>・企画展、所蔵展どちらか一方のときは本当に損した気分になる。[水島]</li> <li>・年間347日の開館日数には大きな努力が認められる。[山梨]</li> </ul>	
b. 開館時間	C	C	C	C	C	C	C	B	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕方以降の観覧者動員は場所柄、苦勞すると思うが、特定曜日のみ開館を延長するなど、観覧機会を減らさずコストダウンに努めていただきたい。[金子]</li> <li>・開館時間の見直しは必要。実情に即した開館時間に設定することを検討(ナイトイベント開催等による時間延長に切り替え)[菊池]</li> <li>・検討の余地あり。一次評価者より意見を伺う。[小林]</li> <li>・サマータイムの土曜は、夜8時まで延長してみたらどうですか。[佐倉]</li> <li>・改善の余地がじゅうぶんあると判断した「C」である。[杉戸]</li> <li>・開館時間がむやみに長いのもどうか?と思う。[水島]</li> <li>・ゴールデンウィークや夏休みでも、10時～18時でも良いと思う。夏季、金、土、日だけが20時というのはどうか? [水島]</li> <li>・冬場は17時でじゅうぶんではないか? 経費がもったいないのでは? [水島]</li> <li>・将来の課題として記されている事項の検討が期待される。[山梨]</li> </ul>	
c. 財務状況	B	B	B	B	B	B	-	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入は予算に対して減少しているものの、支出も減少しているため、評価はBとしたが、その大部分を市民が支えていることを忘れてはいけない。[金子]</li> <li>・美術館としての理想的損益基準というものがあれば、示されたい[菊池]</li> <li>・質を落とさない経費削減、運営の効率化は、常に全員が心がける命題[菊池]</li> <li>・評価根拠について検討の余地あり。[小林]</li> <li>・一般財源負担額の軽減が図れるようにしないと指定管理者制度を導入しろという圧力が高まると思うので支出減と収入増を図る工夫が必要。[佐倉]</li> <li>・入館者を増やして入館料の増加を図る努力は必要だが、その他の収入の増加が不可欠。(限定グッズの作成・販売等の工夫)[佐倉]</li> <li>・観光課との連携でイベント企画など収入を上げる手だてはあるように思う。(マスコミ、テレビでは、横須賀の観光スポットとしてよく見かける。)[水島]</li> <li>・展覧会事業費の約63%を観覧料、図録販売等の収入でまかなっていることは、全国でも例が少ないと思われる。財務状況としては良好として特筆される。[山梨]</li> </ul>	

特記:

A、B、Cの評点区分をS、A、B、Cに改めてはどうか。

S=指標より高いレベルにあり、きわめて充実している。  
 A=指標を満たし、美術館活動の高い水準に達している。  
 B=指標をほぼ満たしているが、さらなる努力の余地がある。  
 C=指標を満たしておらず、改善の検討が必要とされる。

以上のように変更を加えることを検討し、美術館活動の意義を広く訴えかけるとき、自ら肯定的な立場を積極的に表明できるようにすべきである。[山梨]